

「技術向上のために ～天然歯の色調再現におけるベース色を掴むための検証～」

河合拓人

演者は臨床 6 年目に突入し、1 つの大きな壁に当たった。

現在、歯科技工所に勤務し 3 年目を迎え、日常臨床において前歯部審美修復の仕事を任される機会が増えてきた。その中で、天然歯に対する色調再現の分析と再現能力の自分の技術の低さに気付いた。シェードテイキングがされた画像の目標歯とシェードガイドとのわずかな色調の違いによって、シェードガイド通りの色調を再現すれば良いというケースは少ないように感じる。例えるなら、A2 なのか、明るい A3 なのか、中から明るく見えるのか、表層が明るく見えるのか等である。

陶材には各メーカーに合わせた基本築盛があると思うが、その中のエナメル陶材の使用法によってどのような色調再現の変化があるか考察してみることにした。今回、演者が臨床で使用している 3 つの陶材を使用し、検証を行った。

今回の検証は、歯冠中央から切縁にかけての色調再現に注力したものである。結果、サンプルとシェードガイドとのわずかな色調の違いが確認され、臨床での色調再現に対しての 1 つの基準が自分なりに確立され、ベース色を決定する際の陶材選択での悩みが解消されたように思う。

本講演では、失敗症例を交えてサンプル製作から臨床での応用までの流れを解説したいと思う。今回この発表を通して、同じような悩みを持っている人のお力になれば幸いである。

「加熱形成器を使用した技工について」

土井明人

加熱形成器を使用し製作する歯科的補綴装置にはスポーツマウスガードをはじめスプリント、下顎に装着する K3W スプリントや無呼吸症候群歯科的(気道確保)装置、ナイトガード等があります。平成 30 年の診療報酬改定で口腔内装置の分類に加え、新たに導入された気管挿管保護用歯科的装置の紹介をさせていただきたいと思っています。

併せて、装着の義務化や推奨が増えてきたスポーツマウスガードですが、スポーツ競技人口に対しての装着比率は低いと考えます。スポーツの種類によって、マウスガードへの付与すべき機能や形態があると同時に、ファッション性も求められています。パフォーマンスとモチベーションの向上を目指し、加工性の高いポリオレフィン樹脂を使用しての製作方法、カラーリングやロゴマーク等を埋入したラミネート加工の術式、EVA シートでの加工術式、アスリートへのアプローチ方法、咬合採得についての疑問、マウスガード市場の問題点等をお伝え出来ればと思います。